

名古屋サロンの前後

杉並区

内藤 實（本町六丁目出身）

九月の名古屋での交流会に参加させてもらいました。

昨年は大阪、今年は名古屋と二年連続で思いがけないチャンスに恵まれました。折角の機会ですから、今年は名古屋の会の前に、奈良の明日香村の近くの三光丸と天山の明治村を訪問しました。

三光丸は昨年大阪サロンに、ご夫妻で参加された浅見さんが「クスリ資料館」の館長をしておられる和漢薬の老舗です。前会報二一号で、貴重な資料で上越と置き薬の関係を語っていただきました。

新薬の開発で大手製薬メーカーが生死をかけている昨今、三光丸は鎌倉時代からの和漢の胃腸薬一筋で、伝統と歴史を守り抜いておられます。また資料館の太い柱と土塀の建物と庭に長い歴史を感じました。

昔は行李を背負って全国を廻られたわけ、高田・直江津・新井の宿帳が展示してあります。

館長の奥様は直江津出身の方で「ネットの会員です。四国八十八箇所」の公認先達者として活躍されています。

資料館の周りには古墳もあり遺跡や文化財が多い土地です。皆さんも資料館を見学して遺跡めぐりをされては如何ですか。

余談ですが、クスリは一発当たると、大儲けすると言われていますが、三光丸も一時宣伝文句に「牛馬にも効く」と入れたら、爆発的に売り上げが伸びたそうです。多分、牛や馬を家族以上に大事にした東北地方の大昔の話でしょう。

次に、天山の明治村は高田小熊写真館を訪ねました。

明治末期に建てられた建物がこの地に移され永久保存されています。

豪雪に耐えた建物に「ご苦労さんでした」と労いたいです。

採光のためにスタジオの屋根がガラス張り、白黒の天幕が垂れ下がり昔を知る者にはたまりません。

写真館の隣りにライト設計の帝国ホテル玄関があります。

今度の旅は、新薬の時代に和漢薬の足跡をたどり、デジカメ時代に写真館の保存を目の当たりにして、私にとって、交流会の意義は大きかったです。

